

鉄道事業部門

■鉄道事業の概況

当社の鉄道事業は、新都心新宿を起点とする京王線と渋谷を起点とする井の頭線からなり、東京都西部地域を中心に神奈川県北部にもまたがる84.7kmの路線において、875両の車両により1日約169万人を輸送しています。多摩ニュータウンを抱える当社線は、通勤通学路線という性格が強い一方、明治の森高尾国定公園の中心である高尾山への行楽地輸送にも重要な役割を果たすなど、首都圏交通の大動脈の一翼を担っています。

当社は、沿線地域の発展に合わせ積極的な設備投資を行ってきました。1978（昭53）年には新宿～笹塚間の複々線化が完成し、1980（昭55）年から都営地下鉄新宿線と相互直通運転を開始しました。1990（平2）年には多摩ニュータウンの開発に合わせ建設を進めていた相模原線が橋本まで全線開通しました。

さらに、「特定都市鉄道整備積立金制度」を活用して、「京王線長編成化工事」、「井の頭線車両大型化工事」を実施しました。京王線では1996（平8）年から朝間ラッシュ1時間帯に運転する上り列車30本すべてを10両編成としています。井の頭線では1996（平8）年から大型車両1000系の運行を開始し、1997（平9）年には朝間ラッシュ1時間帯に運転する上り列車を28本から30本に増発しています。これらの工事完了に伴い、1997（平9）年12月に、平均9.1%引下げる運賃改定を実施しました。これは、工事費の一部に充てるため運賃へ上乗せしてきた分6.0%にこれまでの積立てを取崩し還元する分3.1%を加えたものです。

2001（平13）年3月には、平日深夜帯に女性専用車を設定し、2005（平17）年5月から平日朝・夕の通勤時間帯へ拡大しました。また、2006（平18）年9月のダイヤ改定では、都営新宿線直通の急行・快速電車を10両編成で運転する時間帯を拡大したほか、高尾線方面への乗継を改善するなど、適宜、列車運行の利便性向上に努めています。2000（平12）年には、鉄道共通カードシステム「パスネット」を導入したほか、2007（平19）年3月には、首都圏の多くの鉄道・バス事業者と共通でJR東日本の「Suica」とも相互利用が可能なICカード乗車券「PASMO」の使用を開始しました。

当社は今後とも、「信頼」の根幹をなす安全性をさらに高めるための管理体制強化や各種保安度向上策、バリアフリー化を含むサービス向上策、省エネルギー化などの環境対策を積極的に実施し、「信頼のトップブランド」を目指します。